

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値
40608大任町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学校・家庭の共通の課題となっている。	公的塾の「おおとう未来塾」を平成24年から実施しており、全児童生徒の3割ほどが参加している。	これまでに引き続き、学校での学習で躓き、学習に対する意欲が低下した児童に対し、習熟度別等の対応を行いながら、取り残される児童生徒がいないようにする。 また、学習の面白さに気づいてもらうことで、家庭での学習を促していく。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	おおとう未来塾に参加する児童生徒が増加する。	117	人	125
40608大任町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	コロナが5類に指定されてからも、児童の様々な体験活動の機会は、コロナ前まで達しておらず地域の住民との交流等も希薄になっている。	公民館に地域で特技を持つ方を講師に招き、児童生徒に体験活動の機会を設けてきた。	おおとう未来広場を長期休暇中に実施し、地域住民と児童の交流を深める。	児童に対し、様々な体験活動や地域住民と交流の機会を提供し、地域ぐるみでの教育や見守りの体制を構築する。	「おおとう未来広場」の実施対象学年に対して、参加した児童の割合	21	%	30